

令和6年度 島根県歯科技術専門学校関係者評価

評価委員	島根県歯科衛生士会代表 吉田ちかみ、島根県歯科技工士会代表 田中忠重 島根県歯科技術専門学校同窓会代表 徳島裕二、臨床実習施設関係者代表 椋 秀雄 島根県歯科医師会法律顧問 津田和美
------	---

	評価委員意見	今後の改善方策
(1) 教育理念・目標	④今年度の目標にある周知に対する自己評価の平均点が上がっており、適切に対応されていると思います。	現在掲げている教育理念・目標を慈しみ、また、社会の変化によって生じる多様な価値観などにも配慮して参りたいと存じます。
(2) 学校運営	①人事給与に関する規定は整備されているはずであるが、例年自己評価平均点3.3と低い評価に対する対応策は比較的早く簡単に講じることができると思う。こういう簡単にクリアできるものは早急に解決した方が団体としての意識を統一しやすいと思う。	設立母体である島根県歯科医師会の規約に則り運営していることを、職員・教務委員間で周知して参ります。
(3) 教育活動	①社会情勢の変化から必要とされる歯科業界の状況に即したカリキュラムの見直しに期待します。 ② ③の歯科医療業界の状況に応じてカリキュラム変更がなされているに評価が低い点について、CAD/CAM、口腔内スキャニング化、各種デジタル化、訪問診療、患者の高齢化などについて、対応が遅れているなら修正すべきである。 ③ ⑧教職員の教育指導力を向上させる研修については、形ばかりの外部への研修会参加等を奨励するつもりはなく、国家試験に準じた試験問題を作成できているかなどを科目ごとに複数の教員がチェックなど内部的な検証は必要であると考えます。	・昨今の歯科医療業界の状況に応じたカリキュラムとなるよう努めています。 歯科技工士科では、CAD/CAMの実習を実施しております。また、口腔内スキャニングについては業者によるデモ実習を実施しています。 ・歯科衛生士科では、座学と臨床実習（高齢者施設も含む）によって、訪問診療や患者の高齢化について学ぶ機会を得ています。 研修に参加する教職員は、他校の教員等と接することにより、自身の向上に繋げるとともに、学生へ研修で得たものを還元されていると存じます。 ・各期末試験問題については、国家試験を意識された内容や、授業で基本として押さえるべきことなど内容を考慮されていると存じます。

<p>(4) 学 習 成 果</p>	<p>①学生自身の将来における選択肢が多くあるので、専門職としてのライフデザインがイメージできる取組があるとよいと思います。</p> <p>② ③退学率の低減が図られているかという項目が自己表が低かった点については残念である。学生さんの個人的問題がある場合もあるが、退学者についてはその理由を率直で具体的な理由をオープンにしてほしい。それを歯科医師会執行部など一定数の人間で共有していただきたい。</p> <p>そしてその対応策～神経内科を受診させるとか、最近話題の重度の隠れ貧血発見のための検査をさせる等～学校として一歩踏み込んだ寄り添い方を考えてほしい。そしてその経験を蓄積するシステムを持つ必要はあると思う。</p>	<p>歯科技工士科では、卒業生による特別授業を実施しています。座学と実習による構成で、質疑応答の時間も設けられており、学生のモチベーションアップにも繋がっているようです。</p> <p>退学理由の公開については、今後検討していきたいと存じます。</p> <p>悩みを抱えた学生については、基幹教員と学生との面談の機会を設け、希望者にはスクールカウンセラーとの面談を実施して基幹教員と情報共有しながら学生の対応をしております。</p> <p>一歩踏み込んだ対応については今後、検討してまいります。</p>
<p>(5) 学 生 支 援</p>	<p>①学生支援において、各種奨学金等がホームページで周知されており適切に対応されていると思います。</p> <p>②多忙な職員の皆様に無理な提案であるが、或いは既に行われているかもしれないが。卒業後3年とかの一定期間、県内外に就職した人が離職していないか調査する部門があれば良いと思う。</p> <p>卒業後早めに離職した人が衛生士を辞めてしまうのを防ぐ手立てが欲しい。県外に就職した西部出身者が1年以内に県内に再就職した場合、20万円給付の対象にするとか。衛生士不足対策という点からも大切な卒業生が躓いた時の杖になるという観点からも。新たに一人の衛生士を作る労力と時間を考えれば有意義なものだと思う。</p>	<p>卒業3年の調査を卒業生と卒業時の内定先へ実施し概ね把握しております。</p> <p>早期離職については、本校でも大変重要な問題だと感じております。令和5年に卒業生相談窓口を設置し、都度対応を行っております。具体的な制度については今後検討して参ります。</p>

<p>(6) 教育環境</p>	<p>特になし</p>	
<p>(7) 学生の受入れ状況</p>	<p>①学生募集においては、ホームページへの掲載や高校生への職業紹介等適切に対応されていると思います。今後は更に低い年齢層にも職業周知が図られることを期待します。</p> <p>②学生の募集について、一般入試時すでに推薦により入学が決定している生徒さんも受験可能な特待生試験を実施する。生徒さんや親御さんの気持ちを刺激する制度があれば良いと思う。</p>	<p>・昨年度、「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」推進校の安来市立赤屋小学校の生徒の皆さんが、来校され両科で実習体験をしていただきました。こういった機会がありましたら積極的に実施して参ります。</p> <p>・特待生制度の可否を含めた明確な規則（特待生の対象など）や、特典等（入学金や授業料の免除などの予算面）について、検討する必要があると考えられます。</p>
<p>(8) 財務</p>	<p>特になし</p>	
<p>(9) 法令等の遵守</p>	<p>①地域とのつながりを感じられる体験を期待します。</p>	<p>現在、近隣の公園の清掃活動や各学年の遠足で松江市内の観光資源などを体験する機会があります。更なる地域貢献につながる活動を検討してまいります。</p>
<p>(10) 社会貢献・地域貢献</p>	<p>特になし</p>	

<p>①人材確保のため、色々と尽力されている事が実を結べばと、思います。</p> <p>②非常に高い国家試験合格率は、先生方の努力の賜物であると脱帽する。さらにデータとして、1年生として入学した人が3年後にストレートで国家試験に合格した人数(率)なども公表してほしい。残念ながら、1年生で、2年生で、3年生で留年した人、退学し人の数もデータとして公表した上で(学生や誰かを悪者にするためではなく)対応方法を蓄積することが大切になると考える。少子化で学生を集めることが難しくなる時代、せっかく入学してくれた若者を脱落させることなく卒業させるという、非常に難しい事が求められる時代でもあると考える。</p> <p>③自己評価結果を見る限り、効率的に行われていると思います。隣県の技工士学校の廃校により、入学者が増えることを期待いたします。関係者の皆様のご負担も増える事でしょうが、優秀な歯科技工士の排出をきたいいたします。昨今のデジタル機器の発達は目覚ましいものがあります。生産性だけにとらわれず、基本的な生体の研究を忘れないようにしてほしい。女性の入学者が増加しています。教育現場でもそうですが、卒後の労働環境も整えることが望まれます。離職率を下げるため卒後臨床研修及び、卒後研修、各学会等へ参加して刺激を得る努力を。就職してからの労働環境、待遇等を改善して優秀な人材が育つように地盤を作ること。</p>	<p>・島根県でも医療職の人材確保は、重視されており、委託事業として継続実施となっており、委託事業として継続実施となっており、本会、そして歯科技工士会ならびに歯科衛生士会と事業を進めて参りたく存じますので、ご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>各学生が入学から卒業するまでを追跡調査すること、ならびに調査結果公表については検討をして参ります。</p> <p>・今後も変わらず生体についてカリキュラムに組んで参ります。また、全国的にデジタルの普及により在宅ワークも可能なラボも増えてきております。子育てや介護などのライフイベントの変化に対応した働き方ができると期待しております。</p> <p>・卒業後の研修、労働環境改善につきましては、各団体との連携が重要だと考えますのでご協力をお願いいたします。</p>
---	--

(
1
1
)
そ
の
他